

創造の意気ここにあり

令和5年2月28日
学校長 遠藤まり学校ホームページ
<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sugeta/>

令和4年度のみなさまからのご支援に感謝します。



学校長 遠藤 まり

暖かい春の日差しを感じる時季となり、学校では本年度の振り返りをして来年度に向けて準備を進めているところです。保護者のみなさまにはアンケートにご協力いただき、また学校の教育に対しておおむね高い評価をいただき感謝申し上げます。学校評価報告につきまして、別紙『学校評価報告（保護者・生徒アンケート結果分析）』『学校評価報告書（自己評価結果）』を、学校ホームページにはアンケート結果等を掲載しますので、ご覧いただけますようお願い申し上げます。

さて、3年生は卒業を控え中学校生活も残りわずかとなってきました。3学年だより4月号の学年主任からのメッセージには、『自分も周りの人も笑顔にする』そんな声かけや行動のできる君たちのよさを継続し、中学校生活最後の1年1日1日、1分1秒みんなと過ごせる幸せを実感しながら生活していきましょう」とありました。3年生は中学校生活のスタートから休校・分散登校があり、コロナの影響で学校行事ができなかったり、学習や部活動で制限があったり、そんな3年間になってしまったことを本当に残念に思います。しかし、陽気にそして前向きに、できること、やるべきことにしっかり取り組んできてくれた生徒たちで、「よく頑張った。ありがとう！」という気持ちでいっぱいです。世の中は絶えず変化していますが、これからも菅田中が学校教育目標に掲げる『自分で考え、判断し、行動する力』を磨き、これからの人生を力強く歩んでほしいと願います。

最近「恩送り」という言葉を目にして、その言葉について調べてみると、自分が受けて嬉しかったことを、別の誰かにしてあげるという恩のバトンリレーのようなもの、とありました。生活している中では、家族や周りの人、はたまた他人からしてもらったことで、助かったこと、嬉しかったことがたくさんあります。そんな時にはその方へ恩返しをしたいと思いますが、また、私もこんなことができる人になりたいとも思います。まだ若かった頃、仕事で困っていた時に先輩の先生に大変助けていただきました。ある先生から「今はできなくても、できるようになったらその時にあなたが助けてあげなさい」と言われました。お世話になった先輩の先生には直接恩返しができなかったと思いますが、今は多少なりとも周りの人に力を注いでいるかなと思う時があります。まさに「恩送り」なのだと思います。時間が経ってもその方の行為は受け継がれていると考え、なんて素敵なおことだろうと思いますし、私の行為もこの先繋がれていくことがあるのかと思うとワクワクした気持ちになります。改めて、自分は大さんの人から支えられているということに感謝したいと思います。ありがとうございます。

各ご家庭、地域、関係諸機関のみなさまには、来校の機会が少ない中でも教育活動へのご理解とご協力をいただき、みなさまに支えられてこの時期を迎えることができましたことに心から感謝いたします。5月には新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に移行され、これからはきっとこの3年間とは違う新しい景色が見られるのだと思います。伝統を守りながらも、この3年間に工夫して新しく築き上げたものも大切にして、学校は進んでいきます。令和5年度も引き続き菅田中学校をご支援いただけますよう、どうぞよろしく願いいたします。

◇3月8日（水）卒業証書授与式について

式場（体育館）の座席間隔確保のため、卒業生と保護者（ご家庭2名）、在校生代表（17名）、ご来賓代表（学校運営協議会委員より7名）、職員で行います。

代表以外の1・2年生は登校しません。（「校長が出席しなくてよいと認めた日」とします）

◇3月24日（金）修了式・離任式

離任式詳細は22日頃改めてお知らせします。

◇令和5年度学校行事について（年間行事予定表は4月に配布します。）

◎始業式 4月7日（金）校庭（雨天時は放送）

◎入学式 4月7日（金）体育館

新入生と保護者（ご家庭2名）、ご来賓代表（学校運営協議会委員より7名）、在校生代表1名、職員で行います。

◎4月28日（金）（午後）公開授業・学級懇談会・学校説明会・部活動説明会

◎4月家庭訪問・地域訪問は実施せず、担任が生徒と教育相談を行います。

〈今後変更されることもあります。その際は改めてお知らせいたしますので、ご了承ください。〉

1 学年 キャリア学習 職業講座を終えて

1 学年職員 松木 あおい

本校では、コロナ禍で R2, R3 は体験学習が実施できませんでした。そこで、R4 年度は職業についてより実践的に学ぶ機会にしたいと、「一般社団法人夢らくざプロジェクト」様にご協力いただき、校内での活動ですが、全学年で同じ内容で職業講座を実施しました。当日は、

染料開発者 アロマセラピスト 建築家 フードスタイリスト ヒーター製造スタッフ・
シンガーソングライター 気象予報士 弁護士 イラストレーター データサイエンティスト

の講師の方々に来ていただきました。

閉会式では、生徒が「働いてお金をもらうことの大変さが少し分かったような気がします。」と素直な感想を述べていたことが印象的でした。大人になってからはお金を払っても経験できないような、貴重な体験をさせてもらう機会になりました。今後の進路選択にぜひ生かしてもらいたいと思います。

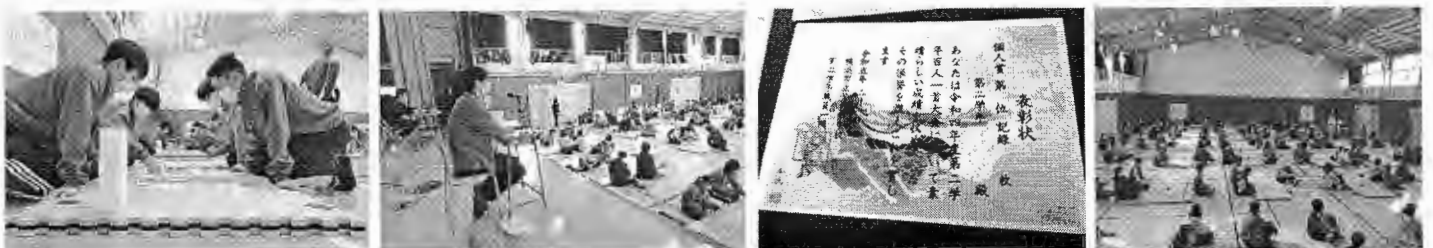


2 学年 百人一首大会を終えて

2 学年国語科 松村 圭祐

2 月 1 日水曜日 5, 6 時間目、百人一首大会が行なわれました。去年とは対戦形式を変え、全員が体育館に一堂に会し、チームによる源平戦での対戦となりました。百人一首は年明けから練習を行いましたが、積極的に取り組み、みるみる力を付けていきました。当日は練習の成果が表れ、2 回戦通してどの対戦も白熱した試合となりました。今年も勝つため、また去年の雪辱を晴らすため、精一杯楽しんで、本気で行事に向き合っていました。

久しぶりの学年行事で、2023 年一つ目の素敵な思い出を作る時間となりました。



1・2学年主任より ～ 学年末を迎えて

今年度、1学年(黄学年)の入学と一緒に菅田中学校に赴任し、親しみやすい生徒たちに囲まれ、走り回った一年間だったと感じています。1年生は期待と不安で始まった中学校生活最初のこの1年間を振り返り、上手くいったこと、上手くいかなかったこと含めて、まずは頑張った自分を褒めてもらいたいです。そして“すべてのことには意味がある”ので、この1年間の経験をすべて来年度への糧として生かして行ってほしいです。そのために1年後の自分は“こうなりたい”“こうなっていたい”という目標をもち、しっかりと見通しがもてるとより良い生活が送れるのではないかと思います。

来年度は学校の中核を担う2年生となります。より自分の行動に責任をもち、日々の生活が少しでも豊かなものになるように毎日を大切にしてもらいたいです。

1学年主任 中山 淳一朗

今年度は10月に合唱コンクールが行われましたが、どのクラスも素晴らしい取組を見せてくれました。ちょうど中学校生活3年間の折り返し地点となるその時期に、よい形で行事を成功させることができたと思います。2月の百人一首大会は、今年度は体育館で学年のメンバーが顔を合わせながら行うことができました。集中して真剣に取り組む姿や、上の句で取れる数が昨年より増えている様子から成長を感じることができました。来年度は、進級してすぐに修学旅行があります。初めての北海道への修学旅行ということで、みんなで協力して思い出に残る行事にしていきたいと思っています。

2学年主任 日野出 慎



3学年担任より ～ 学年末を迎えて ～

あっという間でした。あっという間でしたが、それぞれの年にそれぞれの発見があり、3年間は自分が変わっていくには十分な時間でした。卒業を迎える3年生、新たな自分を発見できる材料がごろごろころがっている世界へ、勇気と自信をもって羽ばたいて行ってほしいと思います。

3年1組担任 西山 洸甫

2組は優しい笑いに包まれる温かいクラスで、それぞれが友達を思い、楽しみながら取り組む姿は本当に立派でした。受験で苦しいときも教え合ったり支え合ったりできたのは、一緒に頑張る2組のみんながいたからだと思います。ともに一生懸命になれる仲間が、安心して笑い合える仲間がいることがどれだけ力になったのでしょうか。学級目標「WIN」のもと、素敵な1年間を過ごすことができました。

3年2組担任 早川 真央

1年間、素晴らしい時と一緒に過ごさせて頂きありがとうございました。3組のみんなは、元気で明るく、一人ひとりの個性が輝いている場面を多く見ることができました。また、仲がとても良く、困っている人がいたら助け合うことや、行事に向けて協力して頑張っている姿は良いなって思いました。これから旅立っていく3組の未来には、嫌なことや辛いことがあるかもしれませんが、でも、頑張っていれば楽しいことはたくさんあります。みんななら大丈夫です。応援しています。

3年3組担任 玉澤淳一

4組のみなさんとは、2学期から担任として接することになり、早半年。でも、もっと長い期間過ごしていたかのような、濃密な半年間を過ごしましたね。半年という短い期間に、いろんな人が葛藤を抱え、仲間や家族と共に歩み、成長していく姿を見ることができました。そんな中で歌った、合唱コンクールの「信じる」は一生忘れないマスターピースです。どんな環境に置かれても、互いを尊重し合い、やるときはやる。そんな4組のみなさんが、これから先の新しい世界で活躍することを楽しみにしています。

3年4組担任 松浦 和輝

横浜市立菅田中学校 令和4年度 学校評価報告書

(総括 A:十分達成 B:概ね達成 C:努力必要 D:改善必要)

重点取組分野	3年度*		総括
	具体的取組	自己評価結果	
授業改善	<p>①併設型小中学校であることを生かし、9年間を見通した学習指導の充実を図るための授業研究交流の機会を年2～3回設定する。</p> <p>②資質・能力の育成を目指し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善を進めるため、校内授業研究会や授業についての教職員の相互評価の機会を年2～3回設定する。</p> <p>③学習評価の妥当性、信頼性をより高めるため、単元の学習計画の作成、授業実践、評価、改善のPDCAサイクルを確立する。</p>	<p>①今年度は小中授業研究の交流の場としては1月のみとなったが、各教科の授業デザインや独自教材についての話し合いがとても有意義なものになった。</p> <p>②お互いの授業を見合せて、より良い授業をリデザインしていく「授業見合おう週間」という取組を行ったが、うまく機能していなかった。菅田中の実態に合わせたこれからの時代に必要な資質・能力を育む授業について、持続可能な取組を全体で考えていきたい。</p>	B
豊かな心	<p>①「考え、議論する道徳」の授業の充実を図るため、年間指導計画に基づいて各学年で指導案を検討し授業を実施する。</p> <p>②「人との関わり」に重点を置いた道徳教育を全校で推進するため、学校行事や校外学習等における体験的な活動の充実を図る年間指導計画・別業・「豊かな心の育成」プランを作成し、実践・検証を行う。</p>	<p>①神奈川県での道徳のテーマ「考え、議論する道徳」を実践するために、区の研究授業に向けて、指導案の検討を行い、授業を実施することができた。</p> <p>②「人との関わり」に重点を置いた道徳教育を推進し、学校行事や校外学習では体験的な活動の充実をはかることができた。</p>	B
健康教育	<p>①単元や種目に適した体力や、身体の操作方法を身に付けることができるよう補強運動等の検討を行い、実施する。</p> <p>②自発的に運動の楽しさを味わいながら、健康の増進や体力の向上を図るため、昼休み等を活用して運動を行う時間と機会を設定する。</p> <p>③日常生活におけるバランスのとれた食生活の実践を進めるため、保健体育科や技術・家庭科等において食育に関する知識を深化させる学習を行う。</p>	<p>①単元や種目に適した体力や、身体の操作方法を身に付けることができるよう補強運動等の検討を行い、実施した。</p> <p>②自発的に運動の楽しさを味わいながら、健康の増進や体力の向上を図るため、昼休み等を活用して運動を行う時間と機会を設定した。</p> <p>③日常生活におけるバランスのとれた食生活の実践を進めるため、保健体育科や技術・家庭科等において食育に関する知識を深化させる学習を行った。</p>	A
キャリア教育	<p>①他者との協働の大切さを学び、新たな視点をもつことで、他者と協働的に問題に向かう態度を育てるために職業講座を実施する。</p> <p>②学習や生活の見通しを立てるために学んだことを振り返りながら、新たな意欲につなげ将来の生き方を考えるためにキャリアパスポートの効果的な活用方法を検討し実践する。</p>	<p>①他者との協働の大切さを学び、新たな視点をもつことで、他者と協働的に問題に向かう態度を育てるために職業講座を実施した。</p> <p>②学習や生活の見通しを立てるために学んだことを振り返りながら、新たな意欲につなげ将来の生き方を考えるためにキャリアパスポートの効果的な活用方法を検討し実践した。</p>	B
いじめへの対応	<p>①生徒と教職員の信頼関係構築のため、学級担任、保護者、生徒との相談活動を年2回以上、面談を年2回(7月・12月)実施する。</p> <p>②いじめの未然防止や早期発見・対応のため、教育相談アンケートを年2回以上実施する。また、令和4年度よりP-Aセスメントを活用し、学級の実況に応じた支援を行う。</p> <p>③いじめの再発防止に向けて、いじめ防止対策委員会を月1回以上開催し、認知された案件の経過確認を丁寧に行う。</p> <p>④いじめ防止に向けて、いじめを扱う道徳の授業を全学年で年2回実施する。全校の人権教育の取組として「人権の木」を作成する。</p>	<p>①予定通り行うことができた。日常的な活動、計画的な活動を両立しながら今後とも生徒・家庭に寄り添った取組を行っていきたい。</p> <p>②アンケートやY-P-Aセスメントシートなどから生徒一人一人の普段表に表現されづらい面を見取ることができた。また個別に支援していくことができていた。</p>	B
人材育成・組織運営(働き方)	<p>①すべての教職員が中期学校経営方針の中期取組目標及び重点取組分野・具体的取組の実現に向けて自らの経験や役割に応じた目標設定を行い、「チーム菅田」として実践し、年度末に評価を行って、次年度の改善につなげる。</p> <p>②年に1～2回働き方改革推進委員会を開催して本校の課題を明らかにし、ワークライフバランスについての意識の向上や時間外勤務の削減に向けた具体策を設定し全教職員で共有する。</p>	<p>①保護者・生徒・職員アンケートの結果を昨年度と比較すると、全体に良い割合が増えている。課題解決や他者と関わり合う活動を、総合的な学習をはじめ各教科で意識的に増やしていく必要がある。</p> <p>②働き方改革推進委員会を開催して本校の課題をアンケート取り共有したが解決には至っていない。ワークライフバランスの意識の向上は図れ、時間外勤務の削減は進んでいる。</p>	B
地域学校協働活動	<p>①令和4年度は「放課後学び舎」(放課後学び場事業)を年間を通じて展開するとともに、学校・地域コーディネーターを養成し、次年度の地域学校協働活動の在り方を検討し、年度末に評価を行って、次年度の改善につなげる。</p> <p>②ブロック3校による地域学校協働活動に関する情報交換の機会を年2回設定し、各校の活動についての情報共有を行い、さらなる充実のための方策を立案する。</p>	<p>①「放課後学び舎」は協力者も増え、定期的の実施しているため、今後は参加する生徒の募集も工夫して後押ししていきたい。また、来年度の地域学校協働活動の在り方について学校・地域コーディネーターと打ち合わせをすることができた。</p> <p>②ブロック3校による地域学校協働活動に関する情報交換の機会を年2回設定し、各校の活動についての情報共有を行った。</p>	B
特別活動	<p>①よりよい学校作りに参画するリーダーの育成に向けて、生徒会活動を通して主体的に課題を見だし解決するための話し合いを重視した学級活動を展開するとともに、実践的な内容のリーダーズ研修会を実施する。</p> <p>②集団において自己の役割を果たし多様な人々と協働して主体的に取り組む力や人間関係を形成する力を育てるために、「協働的な学び」を大切にした学校行事の計画・実施及び検証を行う。</p>	<p>①よりよい学校作りに参画するリーダーの育成に向けて、生徒会活動を通して主体的に課題を見だし解決するための話し合いを重視した学級活動を展開し、実践的な内容のリーダーズ研修会を実施した。</p> <p>②集団において自己の役割を果たし多様な人々と協働して主体的に取り組む力や人間関係を形成する力を育てるために、「協働的な学び」を大切にした学校行事の計画・実施及び検証を行い実践した。</p>	B
ICTを活用した教育	<p>①見直しをもって情報活用能力を育むことのできるよう、「情報活用能力体系表」の活用と検証を行う。</p> <p>②「個別最適な学び」の実現を目指して、AIドリルや授業配信等の活用方法の研究と実践・検証を行う。</p> <p>③「協働的な学び」の実現を目指して、一人一台端末の活用方法の研究と実践・検証を行う。</p>	<p>①情報活用能力体系表の活用と検証を行うことができなかった。来年度は、定期的な生徒へ情報活用能力のアセスメントを行い、指導への活用を図りたい。</p> <p>②AIドリルの活用推進は進んできている。来年度は、横浜どこでもスタディへの取組推進を行い、より「個別最適な学び」の実現へ近づけていきたい。</p> <p>③一人一台端末の活用については進んでおり、生徒は「協働的な学び」を実現するための授業展開をするための基礎的なスキルを身に付けてきている。来年度は、より進んだ活用ができるよう、積極的に研修などを行っていきたい。</p>	B
特別支援教育	<p>①全ての教職員が特別支援教育の目的や意義、障害に関する知識や配慮等を理解し、適切な指導及び必要な支援を行うことができるよう、全職員対象の校内研修を年1回以上行う。</p> <p>②生徒のニーズに応え、学習を保障する場としてのキャベツルームを設置し全職員で対応する。</p> <p>③「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を適切に作成し活用する。特別支援委員会はそのための支援・協力を行う。</p>	<p>①全ての教職員が特別支援教育の目的や意義、障害に関する知識や配慮等を理解し、適切な指導及び必要な支援を行うことができるよう、全職員対象の校内研修を年1回以上行ったり、横浜型センターの機能を活用し校内研修を行った。</p> <p>②様々な生徒のニーズに応え、学習を保障する場としてのキャベツルームを設置し全職員で対応したが、特別に支援が必要な生徒が多くなり、「自学自習の場」だけでは「学びの場」の一つとしてキャベツルームは、時間割担当の職員で可能な限り学習支援を行ってきたい。</p> <p>③「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を適切に作成し活用する。特別支援委員会はそのための支援・協力を行った。情報等は学期ごとに更新していく方向で行ってきたい。</p>	B
ブロック内評価後の気付き	<p>コロナ禍でできていなかった行事が行えるようになり、子どもたちに体験的な学習活動を多く行うことができた。また、3年ぶりにブロックでの小中授業研究会を行い、子どもたちの実態を把握し、積極的な意見交換をすることができた。それぞれの部会で課題を共有したことをこれからの教育活動に生かしていきたい。ICTの活用を多くの授業で行えるようになってきている。小学校でも使えるようになってきているので、小学校での活用例についてなどの情報交換も行っていき、小中の接続をよりスムーズにできるようにしていきたい。</p>		
学校関係者評価	<p>横浜市学力・学習状況調査等の結果から見て、菅田中ブロックの児童生徒は育成すべき資質・能力としての【知識及び技能】に課題があること、また、スマートフォン等の電子デバイスの一日の使用時間が長いことが明らかになっており、これらはこれまでかなりの期間継続して課題となっている。「独自教材」の導入に向けてブロック及び3校のキャリア・マネジメントを行っていく中で、これらの課題解決に向けての具体的な方策を示すとともに、その内容について児童生徒、保護者、教職員、地域と共通理解を図る取組を行い、成果につなげてほしい。</p>		
中期取組目標振り返り	<p>令和4年度から3年後を見据えた中期学校経営方針の策定をしてこの1年間取り組んできた。新型コロナウイルス感染症の予防や対策のため、教育活動においては制限がある場面もあったが、それでもその前の2年間に比べれば、生徒に多くの経験をさせることができた。</p> <p>保護者・生徒・職員アンケートの結果を昨年度と比較すると、全体に良い割合が増えている。ICTについては、各教科をはじめ生徒の活動でも活用が進んだと考える。しかし、学校教育目標の力の育成に向けて、課題解決や他者と関わり合う活動を、総合的な学習をはじめ各教科で意識的に増やしていく必要があり、菅田中の実態に合わせたこれからの時代に必要な資質・能力を育む授業について、来年度はさらに教職員全員で持続可能な取組を考えていきたい。</p>		

学校評価報告（生徒・保護者アンケート結果の分析）

11月に実施した令和4年度の学校評価・授業評価について、概略をご報告いたします。
集計結果の詳細は、後日学校のホームページに掲載します。

1 菅田中学校の学校評価

(1) 集計結果から

昨年度に引き続き、生徒・保護者ともすべての質問項目で「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計の割合が高い結果となりました。菅田中学校の生徒は、内容や方法を工夫しながら、日々の学習や生活、学校行事や部活動等に意欲的に取り組み、成果をあげることができたと考えています。

特に、生徒の回答で、「自分には、よいところがあると思っている」「自分の考えを積極的に表現して伝え、他者と関わり合いながら高め合っている」に対する肯定的な回答が例年より高くなっていることが注目されます。

(2) 今後に向けて

菅田中学校ブロックが9年間で目指す「自分で考え、判断し、行動する力」及び菅田中学校が学校教育目標に掲げる「主体性・協働性・コミュニケーション力」の育成が着実に測られつつあると考えられます。

引き続き、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善と、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する学校教育の在り方を追究していきます。

2 菅田中学校の授業評価

(1) 集計結果から

各教科とも、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計が8割を超えている質問項目がほとんどであり、「主体的・対話的で深い学び」に向けて、菅田中学校と生徒一人一人が「個別最適な学び」や「協働的な学び」を通して、主体的に取り組んでいる様子がうかがえます。

一方、「授業の中で先生と生徒や生徒同士が対話や討論をする機会がある」「生徒一人一人を理解し、安心して質問や発言ができる授業の雰囲気である」の質問項目については課題が見られる教科もありますので、引き続き改善と充実に取り組んでいきます。また、学年が上がるにつれて学習評価への関心が高まっており、評価の方法や評価規準についての説明をより充実させていきます。

(2) 今後に向けて

現在の学習指導要領で育成を目指す資質・能力の三つの柱である〔知識及び技能〕〔思考力、判断力、表現力等〕〔学びに向かう力、人間性等〕の育成に向けて、学校教育目標に掲げる「主体性・協働性・コミュニケーション力」を大切にした授業改善に引き続き取り組んでいきます。特に、学習評価について、妥当性・信頼性をさらに高める取組を進めます。

I C T機器（Chromebook）については、生徒・教職員ともかなり浸透し、積極的な活用が図られています。引き続き研究と実践を行い、より効果的な活用を図っていきます。

3月予定表

完全下校 17:45

日にち	曜日	校時	昼食	行事
1	水	5	○	代議員会
2	木	5	○	
3	金	5	○	
4	土			
5	日			
6	月	5	○	放課後学び舎 卒業式予行② 3年生を送る会③
7	火	3	○	
8	水		×	第45回卒業証書授与式 (一般生徒は15時まで自宅学習)
9	木	5	○	
10	金	6	○	各種委員会 1年生百人一首大会
11	土			
12	日			
13	月	5		
14	火	5	○	特別委員会
15	水	5	○	
16	木	3	○	球技大会(1年)
17	金	3	○	球技大会(2年) 修学旅行保護者説明会
18	土			
19	日			
20	月	3	○	
21	火			春分の日
22	水	3	○	
23	木	3	○	大掃除
24	金	3	×	修了式・離任式
25	土			学年末休業
26	日			
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			

スクールカウンセラー(杉沢 実佳先生)による相談
 3月は、7日、13日、23日の予定です。
 相談や面接の予約等は、本校職員または相談室直通電話(472-5438)まで。

菅田中ブロックは併設型小中一貫校

令和4年度、菅田中学校ブロックの「横浜子ども会議」では、『だれにとっても居心地のよい学校づくり』をテーマとして、各学校で7月までにテーマに向けての取組を行い、7月19日(火)に菅田中学校を会場としてブロック会議を行いました。

菅田中学校ブロックとして最も大切にしたいものは「あいさつ」です。3校の子どもたちは、あいさつで学校、地域を明るく元気にしたいと考えて話し合いを行い、小学校では「あいさつビンゴ」「あいさつポスター」に取り組み、中学校では生活委員会と連携して「あいさつ週間」を実施しました。そして、あいさつを日常的に意識できるようにするため、現在の「あいさつは笑顔へつながる第一歩」に代わる新しいローガンを定め、菅田中・羽沢小・菅田の丘小の3校に掲示する横断幕を作成することにしました。

現在、菅田中学校ブロック学校・家庭・地域連携事業及び菅田中学校生徒会の応援を得て、新しいローガン「友情の芽に あいさつという まほうの雨を」の横断幕を製作中です。新年度からは、この新しいローガンのもと、「学校に関わるすべての人に、あいさつで、菅田中学校ブロックを元気にしたい」という思いの実現に向けて取り組んでいきます。

